

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for	種別 Subject type	
506	英米文学 <English and American Literature>	英米文学・講義	演習	
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)	開講期 Semester	開講時間帯 Day and time	
英米文学	滝川 睦(TAKIKAWA Mutsumu)	前期	火曜：5限	
講義題目 Title	シェイクスピア研究(1)			
単位 Credit	2			
備考 Others	他分野・他研究科の学生は、開講10日前までに授業要領について担当教員から指導を受けること。			
履修条件 注意事項 Requirements for registration	文学研究を中心に据えた授業を行いますので、受講者は英語原文テキストを真剣に取り組む心の準備をして授業に臨んでください。とくに第一回目の授業は、授業全体の計画を詳細にお話しますので必ずテキストを持参して出席してください。テキストをもっていない場合は、受講を認めないことがありますので、必ず第一回目の授業前に購入しておくこと。			
授業の目的 Purpose	「言葉とパフォーマンス 『ロミオとジュリエット』の解剖」と題して、シェイクスピアの戯曲『ロミオとジュリエット』を現代批評の視点から、言葉とパフォーマンスに焦点を合わせて、徹底的に分析することを目的に掲げ、シェイクスピア演劇の精髓に迫ることをテーマとして設定する。また本授業は、来るべき時代と歴史に対する深い洞察力を持ち、言葉による論理的表現と研究推進を实践する創造的能力によって、人文学の伝統を継承し発展させる意欲的な人材を育成することをねらいとします。			
授業の内容 授業の方法 Content	<p>演習形式で上記の到達目標を達成し、テーマを考究し実際に芝居を演じることができるよう、『ロミオとジュリエット』の分析に焦点を合わせて授業を展開する。随時パフォーマンスを交えた演技訓練を行い、最終的には授業参加度、そしてレポート試験の結果を総合的に評価する。</p> <p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1：近代初期英国の英語と喧嘩の言葉 2：マキューシオとマーキュリー 3：『ロミオとジュリエット』における「真の愛」 4：近代初期英国における若年結婚 5：『ロミオとジュリエット』におけるコロス 6：『ロミオとジュリエット』における男性性 7：近代初期英国演劇における道化と乳母 8：『ロミオとジュリエット』における剣 9：『ロミオとジュリエット』における毒と薬 10：『ロミオとジュリエット』における祝祭 11：『ロミオとジュリエット』における時のテーマ 12：『ロミオとジュリエット』における死のテーマ 13：『ロミオとジュリエット』の演出と演技 14：『ロミオとジュリエット』と『恋におちたシェイクスピア』 15：総括 <p>レポート試験</p>			
教科書 テキスト Textbooks	William Shakespeare, Romeo and Juliet. 岩崎宗治編注。(大修館シェイクスピア双書)大修館書店、1988年。ISBN 9784469142600			
参考書 References	授業時に指示します。			
受講生の 自宅学習 Preparation and review	テキストのわからない単語の意味をThe Oxford English Dictionaryなどを使って徹底的に調べてきてください。自宅では、台詞を声に出して読んでみることを。			
成績評価の 方法と基準 Evaluation	レポート試験 70%、パフォーマンス20%、授業参加度10%			

連絡方法
Contact
information

文学部棟417室